

令和 8 年度当初予算の 主な取組について

令和 8 年 4 月
文化スポーツ観光局スポーツ課

視点1 誰もが生涯を通じて親しめるスポーツ活動の推進 1億1,304万円

(主な取組)

- 一部 **新** 公立中学校における部活動の地域展開
 - ・アーバンスポーツの普及促進

視点2 スポーツ活動を広げる環境づくりの推進 13億3,795万円

(主な取組)

- 一部 **新** 県立スポーツ施設の改修・維持修繕
- 一部 **新** スポーツ事故等の防止、暴力やハラスメントのないスポーツ環境の推進
- 新** 国民スポーツ大会冬季大会アイスホッケー競技会の開催

視点3 スポーツの持つ力による地域活性化 4,561万円

(主な取組)

- 一部 **新** スポーツツーリズムの推進
- 新** スポーツによる地域活性化推進事業費補助

視点4 スポーツを通じた共生社会の実現 1億5,360万円

(主な取組)

- 新** パラスポーツ拠点機能の整備
- 新** 地域におけるデフ・パラスポーツ大会振興事業費補助

※本資料は、県の令和8年度当初予算における（目）スポーツ費のみを抜粋したものであり、他局計上予算は含まれない

ライフステージを大きく4つに分け、デジタル技術も活用しながら、様々な主体と連携して施策を展開する。

①乳幼児期（0～6歳）

・親子ふれあい体操の紹介

親子が家庭で一緒に取り組める「親子ふれあい体操」を紹介する。

・レクリエーション指導者の派遣

保育所・幼稚園等への経験豊富な指導者を派遣する。

②児童・青年期（7～18歳）

一部 **新** 部活動の地域展開（詳細は次頁）

企業等との連携により、市町村・地域クラブ等への相談・伴走支援を強化する。

・アーバンスポーツの普及促進

体験会の開催や市町村が行うアーバンスポーツ施設等の整備に対して補助する。

③成人期（18～64歳）

・県民スポーツ月間（10月）の実施

関係団体等と連携し、スポーツイベントの支援やスポーツ教室、体験会を開催する。

一部 **新** 日常で簡単にできるスポーツの紹介

スキマ時間に取り組みやすい「スロージョギング」の普及促進や、体力測定会を実施する。

⑤デジタル技術の活用（全世代）

HPやSNS等を活用し、スポーツ情報やイベント情報を発信

④円熟期（65歳～）

・かながわシニアスポーツフェスタの開催

高齢者のスポーツ交流大会である、かながわシニアスポーツフェスタを開催する。

・ねんりんピックへの選手派遣

「ねんりんピック（8年度は埼玉開催）」に神奈川県選手団を派遣する。

【主要事業】 公立中学校における部活動の地域展開

3,134万円 一部 **新**

- ・国は、令和7年12月に「総合的なガイドライン」を策定し、令和8年度からの改革実行期間において、部活動の地域展開等を全国的に推進する方針を示した。
- ・県は、令和8年度中に「公立中学校における部活動の地域移行に係る神奈川県の方針」を改訂し、市町村への支援、地域クラブ活動の受け皿整備等を行う。

改革実行期間（国）

前期（令和8～10年度）

後期（令和11～13年度）

改革推進期間（令和5～7年度）の成果を踏まえ、部活動の地域展開等の全国的な実施を推進

中間
評価

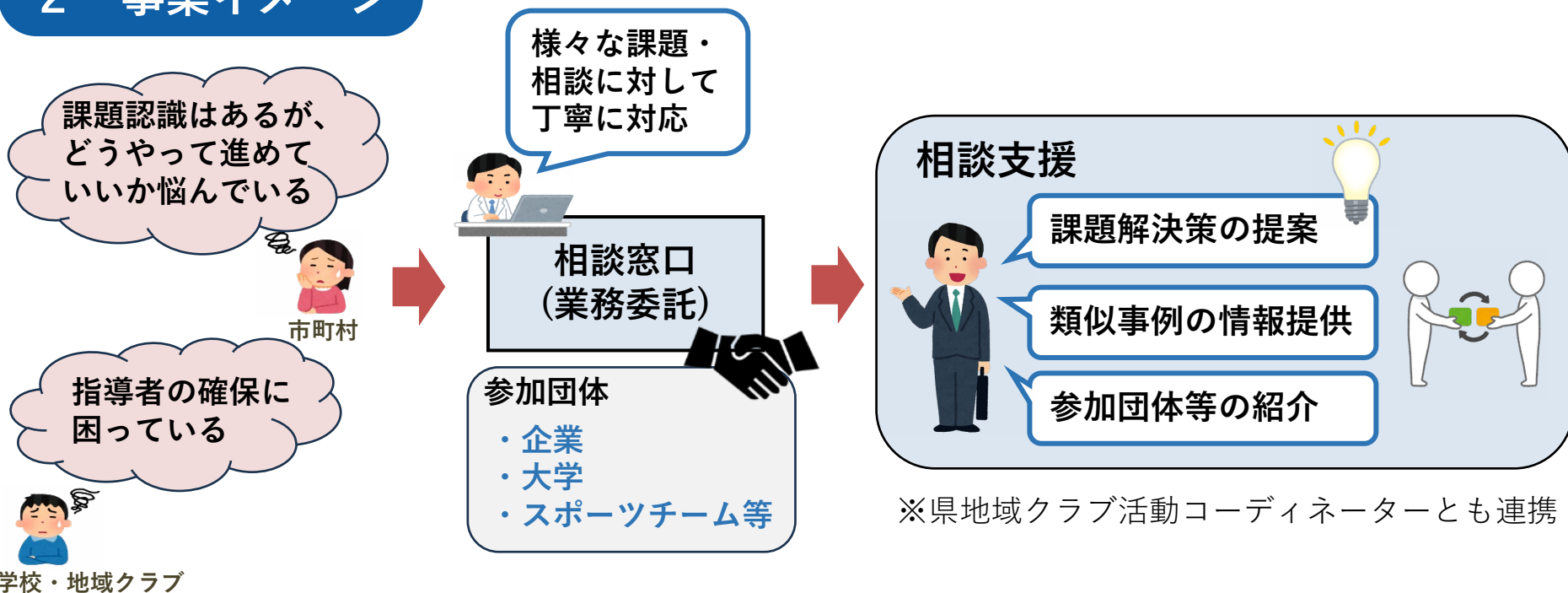
中間評価の結果を踏まえた更なる改革の推進

取組名	主な取組
①市町村への支援	新 休日の部活動の地域展開を進めるために必要な経費を市町村に対して補助する（国1／3、県1／3、市町村1／3）とともに、平日も含めた地域展開等を行う市町村において実証事業を実施する（国10／10）。
②地域クラブ活動コーディネーターの配置	・各市町村の状況把握や市町村間の広域連携の支援等を行う地域クラブ活動コーディネーターを配置する。
③指導者の確保	・広域的な人材バンクである「かながわ地域クラブ活動指導者データベース」を運営する。 ・地域クラブ活動の指導者として必要な知識を取得するための研修である「かながわ地域クラブ活動指導者研修講座」をオンラインで実施する。
④地域クラブ活動の受け皿整備	新 企業等と連携し、市町村・地域クラブ等への相談・伴走支援を強化する。 新 市町村の地域展開に向けた取組を加速させるため、総合型地域スポーツクラブ等と連携し、「地域展開実現モデル事業」を実施する。

1 目的

企業・大学等と連携し、県内の市町村・学校・地域クラブ等からの部活動の地域展開等に関する「相談窓口」を設置し、**課題解決策の提案**、**類似事例の情報提供**、**参加企業等の紹介**などの相談支援を実施する。

2 事業イメージ



3 スケジュール(予定)

令和8年12月：相談窓口開設

1 目的

市町村及び総合型地域スポーツクラブ等と連携し、**県が主体となって「地域クラブ活動」**等を行う「**地域展開実現モデル事業**」を実施する。

2 8年度の取組方針

公立中学校の生徒数が少なく、人口減少が著しい**県西地域**（**小田原市、箱根町、真鶴町、湯河原町**）をフィールドとして、モデル事業を実施する。

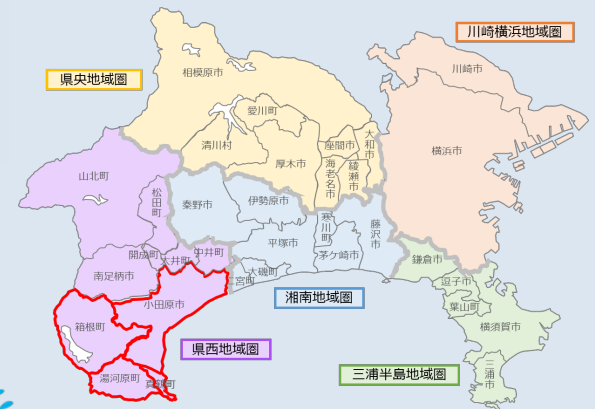
3 事業内容

(1) 事業実施に向けた検討・地域クラブ活動の実施

(2) 地域指導者を対象とした指導者研修会の開催

(3) マルチスポーツ体験会の開催

(4) 県内の総合型地域スポーツクラブが実施する「**地域クラブ活動体験会ガイド**」（リーフレット）の作成



1 目的

子どものスポーツ実施率の向上を図るため、スケートボードをはじめとするアーバンスポーツの普及を促進する取組として、**県内各地で体験会を開催するとともに、市町村が提案するアーバンスポーツ施設等の整備に対して補助**する。

2 事業内容

(1) アーバンスポーツの発表会、体験会の開催等

アーバンスポーツを身近なスポーツとするため、誰でも参加し、技を披露できる発表会や県内各地での体験会を開催するとともに、ルール・マナー等の普及啓発を行う。



(2) アーバンスポーツの環境整備（市町村補助）

県内のどの地域でも、身近な場所でアーバンスポーツができる環境を整備するため、市町村が行うアーバンスポーツ施設等の整備に対して補助する。

【補助率 1/2、1 提案当たり補助上限額 500万円】



アーバンスポーツの普及促進

3 市町村補助の採択事例（令和7年度）

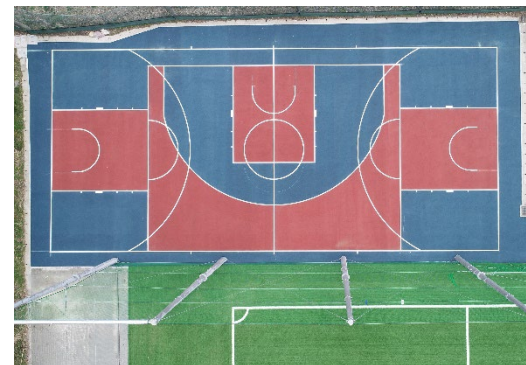
寒川町

町内の子ども及びその家族を対象に、小中学校での行事と併せてスケートボード・BMXの体験会を開催するために必要な競技物品を購入



松田町

町内の子どもが気軽にふれあい、スポーツを楽しむことができる「3X3コート」を新たに整備



山北町

日常的かつ気軽にスポーツを楽しむことのできる場所の創出のため、既存のスケートボード場内に新たなカーブボックスを整備



1 目的

仕事や家事・育児等で忙しく、運動の時間を確保できない県民に対する運動を始めるきっかけづくりとして、「スローラン」を活用した運動促進事業を展開する。

スローランってどんな運動？

- ・ウォーキングでもなく、ランニングでもなく、両方のいいところを取った運動
- ・エネルギー消費量はウォーキングの約2倍！
- ・筋力・体力アップや、シェイプアップが期待できる

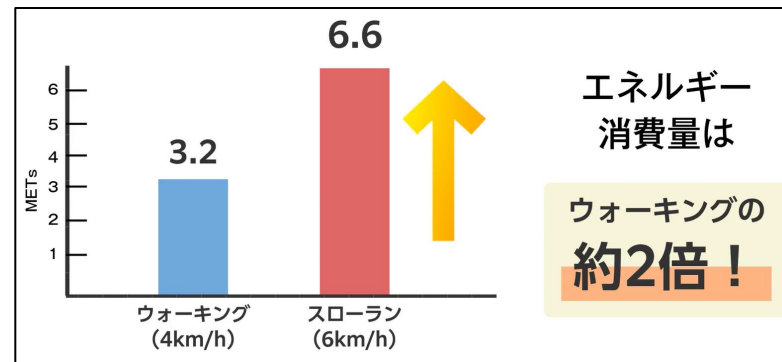


(商標登録出願中)



2 これまでの主な取組

年度	主な取組
6年度	・スローラン体験イベントの実施 ・未病女子navi等での情報発信 等
7年度	・専門家による効果測定・分析調査 ・動画・リーフレットの作成 ・実践モニターイベントの実施 等



県スポーツ課調べ「歩行走運動に関する効果測定・分析」

3 8年度の事業概要

- ・産業医面談や保健指導等を通じて、より多くの県民へアプローチするため、産業医・保健師等を対象とした「スローラン」講習会を実施する。
- ・7年度に作成した動画・リーフレット等を引き続き活用し、広く県民への普及を図る

スポーツ情報満載のポータルサイト開設（ENJOY! SPORTS! KANAGAWA）

1 概要

県のスポーツに関する取組や、公立スポーツ施設の検索機能など、様々なスポーツ情報をわかりやすくお届けする「**スポーツ情報のポータルサイト**」を令和7年12月に開設。



ポータルサイトは[こちら](#)

2 2つのコンセプト

①もっと知ろう！かながわスポーツNOW

- ・県のスポーツ施策を**ワンストップ**で探せ、市町村や企業等が無料で使える写真・動画素材ライブラリー（R8.3公開予定）など、**魅力的なコンテンツが充実**。

→**魅力的な情報を発信し、運動のきっかけづくりに！**

もっと知ろう！ かながわスポーツNOW

競技スポーツ推進の取組

- ・かながわ駅伝 >
- ・アーバンスポーツ >
- ・かながわアスリートネットワーク >

健康・体力づくり、生涯スポーツ

- ・かながわシニアスポーツフェスタ >
- ・全国健康福祉祭（ねんりんピック） >
- ・かながわレクリエーション大会 >

パラスポーツ

- ・デフリンピックの機運醸成 >
- ・かながわパラスポーツとは？ >
- ・かながわみんなのスポーツフェスティバル >

スポーツの持つ力を活用した様々な取組

- ・神奈川のスポーツツーリズム
- ・令和7年神奈川県観光客受入環境整備費補助について（観光課）
- ・神奈川のサイクルツーリズム
- ・部活動の地域移行

②気になるスポーツ施設を探してみよう！

- ・県内に**880**ある公立スポーツ施設を**地域別**、**施設種類別**に検索可能。

→**多様なニーズに合わせて施設を探すことが可能！**

気になるスポーツ施設を 探してみよう！



※検索結果は、令和6年度に実施した「神奈川県公立スポーツ施設設置状況調査」に基づき作成しており、令和6年10月1日時点の情報になります。※次回は、令和9年度に更新予定です。

視点2 スポーツ活動を広げる環境づくりの推進

13億3,795万円

県民の誰もが、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる社会を実現するため、スポーツ活動の環境整備やアスリートの育成に取り組む。

(1) スポーツ活動の環境整備

取組名	主な取組
①スポーツ環境の基盤となる「人材」の育成、「場」の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域スポーツクラブの運営やスポーツ指導など、スポーツをささえる多様な人材を育成するための講座を実施する。 ●新アサンテ スポーツパーク（スポーツアリーナ1）の床面改修や、県立スポーツ施設の維持修繕を行う。
②スポーツ事故等の防止、暴力やハラスメントのないスポーツ環境の推進	<ul style="list-style-type: none"> ●新暑熱対策として、伊勢原射撃場（ライフル射撃場）に空調機を設置する。 ●新指導者に対する研修や相談窓口の設置、注意喚起、意識啓発等を市町村、スポーツ団体等と連携して取り組む。

(2) アスリートの育成

取組名	主な取組
①競技力の向上、トップアスリートの育成	<ul style="list-style-type: none"> ●新国民スポーツ大会冬季大会アイスホッケー競技会を開催する。（詳細は次頁） ・ 国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会への派遣支援や、市町村対抗「かながわ駅伝」競走大会を開催する。
②スポーツ医・科学の活用促進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大学、スポーツ団体、県医師会と連携し、アスリートや指導者に、適切なトレーニング方法や栄養に関する知識提供や講座を実施する。



【主要事業】 国民スポーツ大会冬季大会アイスホッケー競技会の開催 **6,982万円** 新

(1) 目的

「第81回国民スポーツ大会冬季大会アイスホッケー競技会」について、開催経費の一部を負担し、アイスホッケーの魅力を発信するとともに、今後の開催県の好事例となるような「かながわスタイル」による新たな開催の形を目指す。

(2) 開催概要 愛称【かなよこ冬の国スポ2027】

スローガン【君には見えるか！？時速150kmの氷球！！】

令和9年1月31日（日）～2月4日（木）【5日間】

- ・開始式 令和9年1月31日（日）
- ・表彰式 令和9年2月4日（木）



神奈川県PRキャラクター
かながわキンタロウ

「かながわスタイル」とは・・・？



「経費節減・効率化」による負担軽減と、多くの人の注目を集め楽しむことのできる「魅力的な大会の実現」を実現し、スポーツの力でかながわを盛り上げ、県内のスポーツ振興につなげる。

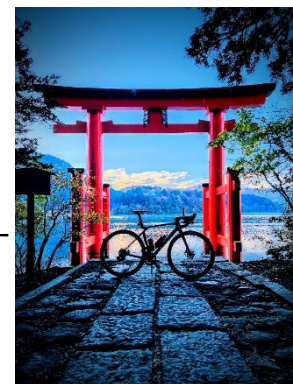
(3) 主な取組

取組名	主な取組
①県民の注目を集める取組	・計画的な大会の周知とアイスホッケーの魅力を発信する動画作成、競技体験により機運醸成を図る。
②多くの人々が大会を楽しむ取組	・DJ実況・解説、観戦ガイド、応援グッズにより、誰でも楽しめる工夫をし、国スポchによりどこでも競技を観戦できる環境を整える。

視点3 スポーツの持つ力による地域活性化

本県が有する豊かな自然環境や、県内のプロスポーツチーム等の地域資源を活用し、交流人口や関係人口の拡大を図り、スポーツの持つ力による地域活性化に取り組む。

取組名	主な取組
<p>①多様な主体との連携による地域活性化</p>	<p>一部</p> <p>新 市町村、スポーツ団体、企業等が情報共有・連携する場である「かながわスポーツ・プラットフォーム」の活用により連携促進を図るとともに、登録団体同士がシームレスに情報共有できる連携促進サイトを新たに開設する。</p> <p>新 スポーツによる地域活性化に連携して取り組む企業やスポーツ団体、市町村等に対して補助する。（詳細は次頁）</p>
<p>②スポーツ資源を活用して地域を盛り上げる取組</p>	<p>新 令和7年度に作成した「滞在型サイクルルートプラン」等を活用したサイクリング体験宿泊パッケージツアーを実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宿泊事業者等が行うスポーツツーリズムに関する取組（サイクリング物品購入、コンテンツ開発、ツアー造成等）に対して補助する。 <p>【補助率：1/2、補助上限100万円】</p>



滞在型サイクルルートプラン
(箱根コース)

1 かながわスポーツ・プラットフォームの概要

設置年月：令和5年8月

登録団体：**118団体**（令和8年3月1日現在）

（市町村：31、スポーツチーム：、企業）

連携事例数：のべ**34事例**（R5:12、R6:22、R7:34）



2 事業内容

（1）これまでの主な取組（引き続き継続）

- ①会議開催（全体ミーティング、月イチ！オンラインフリーミーティング）
- ②登録団体をつなぐコーディネート
- ③連携事例集の作成
- ④情報提供 など

（2）令和8年度の新たな取組

- ・連携促進の強化及び業務効率化のため、**登録団体同士がシームレスに情報共有できる「連携ポータルシステム」**（ノーコード・ローコードツール活用）を構築する。

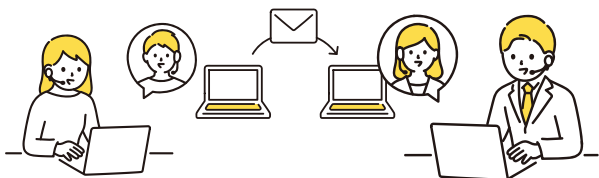
主な機能

①各登録団体に「マイページ」の提供

・お知らせ発信、連携会議開催等が自由にできる！

②連携募集・チャット機能等

・システム内で連携募集やチャットによるやり取りが可能



1 目的

スポーツを通じて「あつまる」「つながる」機会を創出し、地域活性化や共生社会の実現等の社会課題の解決に寄与するため、スポーツによる地域活性化に連携して取り組む企業やスポーツ団体、市町村等に対して補助する。

2 事業概要

①補助対象者

民間団体（企業、スポーツ団体等）、市町村等

②補助率・補助上限額

補助率 1 / 3
補助上限額 100万円

③補助対象事業

- (1) スポーツによる地域活性化に資する新たな取組であること
- (2) 複数の補助対象者が連携して行う取組であること（県内で実施するものに限る。）
- (3) 連携する補助対象者のうち、少なくとも1者は「かながわスポーツ・プラットフォーム」の登録団体であること

④補助事業の想定例

- ・ 地域でのスポーツ大会、イベント、体験会など
- ・ デジタル技術を活用した取組（スポーツDX、eスポーツ）
- ・ マルチスポーツに関する取組
- ・ スポーツホスピタリティに関する取組（スポーツ産業、観光、文化等との連携や地域経済の活性化を図る取組）
- ・ 暴力、ハラスメント、盗撮、誹謗中傷等の防止に資する取組 など

視点4 スポーツを通じた共生社会の実現

人種、性別、年齢、障がいの程度等にかかわらず、誰もが生き生きと喜びを実感できる共生社会の実現に取り組む。

取組名	主な取組
①「かながわパラスポーツ」の普及	<p>新 県や市町村のイベントや商業施設等の場を活用し、「かながわパラスポーツ」の普及に向けた体験会等を実施する。</p>
②障がい者スポーツの推進	<p>新 パラスポーツ拠点機能の整備として、アサンテ スポーツパークに障がい者に運動サポートや相談対応等を行うパラスポーツ指導員を配置する。</p> <p>新 スタートランプの普及に向けて、競技団体や市町村に啓発を行うとともに競技会等へ貸出しを行い、ともに運動できる環境整備を図る。</p> <p>新 国際競技大会に出場経験のあるデフ・パラアスリートを公立学校に派遣し共生社会への気づきを啓発するための出前授業を行う。</p> <p>新 パラスポーツ団体等が開催する大会で、併せてパラスポーツ教室や体験会を実施する場合、大会経費等の一部を補助する。（詳細は次頁）</p>



かながわパラスポーツ関係用具貸出し

1 目的

障がい者のスポーツ体験機会の増加とパラスポーツの振興を目指すため、パラスポーツ団体等が開催する大会で、併せてパラスポーツ教室や体験会を実施する場合、大会開催経費等の一部を補助する。

2 事業概要

①補助対象者

パラスポーツ団体等

②補助率・補助上限額

補助率 1 / 3
補助上限額 35万円

③補助対象事業

- ・ 県内で開催される地方大会レベルのデフ・パラスポーツ大会
(大会開催と併せたパラスポーツ教室・体験会の開催が必須)
※大会規模に制限あり

④補助事業の想定例

- ・ 障害者スポーツ大会における地域住民参加型のボッチャ体験会
- ・ 大会競技種目の教室
- ・ 競技用車いす試乗体験 など